野沢温泉村幼保小中一貫教育・高校連携教育　　令和５年　５月９日（通算１９４号）

山毛欅(ぶな)の子　野沢温泉学園だより第1号

～子どもたちが、ブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

１１年目の野沢温泉学園　新たな１０年のスタート

今年度も新たな職員を迎え、野沢温泉学園がスタートしました。ここ数年間の学園活動はコロナ対策をした内容で行なわれていました。仕方がない事ですが、以前の活動を知る子どもたちにとっては物足りない内容だったかもしれません。昨年度１０年間の節目を終え、今年度は１１年目、新たな１０年のスタートを切ることを良い機会にし、コロナ以前のような交流をメインにした活動が多く出来るよう、学園職員会で様々な計画をしています。今年度も野沢温泉学園に対するご理解とご協力・ご支援をよろしくお願い致します。

小学校のグランドであそんだよ！

先日こども園の年長児が小学校のグランドで遊ばせてもらいました。

「わぁ～ひろーい！」と園庭の何倍もの広さのグランドに大喜び！園には無いタイヤ跳びやクジラ池の中を覗いて見ていると、２時間目の休み時間になり小学生が大勢グランドに出て来ました。園児たちのところに駆け寄って来て、タイヤの上に上がるのを手伝ってくれたり、「こっちにカエルがいっぱいいるよ」と教えてくれたり、中には「こども園に戻りたい！だってお昼寝があるから」と言っていた子もいました。（園児の頃にお昼寝をしない子が言っていたので笑ってしまいます）また、昨年度の２月に一緒に雪あそび交流をした５年生のお兄さん２人が、「おーい〇〇君」と名前を呼んで話しかけてきて、一緒にサッカーをして遊んでくれました。休み時間終了の放送とチャイムが聞こえると、あっという間に小学生の姿が校舎に消えて行き、それを見ていた年長児たちは、「お兄ちゃんたち何処へ行ったの？」「何しに行ったの？」と不思議そうに聞いてきました。休み時間が終わったから、教室に戻って勉強をすることを伝えると、「すごいね！先生が呼びに来ないのに、みんな行っちゃったね」と言っていました。小学生は先生に言われなくても行動している様子が見て分かり、年長児にとって良い機会になりました。

文責　こども園　吉越次子